



「つながる。ハーベスト」第10弾

KITAMI BASE (北見市)

西村 貴子 氏



道内のオススめのワーク施設とそこで出会いを創り出すコンシエルジュをご紹介する「つながる。ハーベスト」。

その第10弾として、北見市にあるワーク施設「キタミベース」の西村 貴子さんにお話を伺いました。

Uターンのきっかけ

西村さんは北見市近郊の美幌町ご出身で、東京の大学進学・就職を経て、北見市にUターンされたとのことですが、キタミベースで働くことになったきっかけを教えてくださいませんか？

東京で出産した直後に東日本大震災がありました。当時私の家から職場までは、朝のラッシュ時だと1時間くらいかかり、仕事中に何かあってもすぐに子どもの場所に行けないことに不安を感じました。遠いだけでなく人口も過密なので、震災が起きたら道路や公園も人で一杯になって、子どもを見つめることも容易ではないとも思っただけです。

そうした危機感から、何か起こる前に自分が納得できる場所に帰ろうと思ったのが、今から11年くらい前のことです。北見にUターンするまでの間は、地方でも収入が得られるように手に職があった

つながる。HUB

KITAMI BASE (キタミベース)

北見市中心部に位置するコワーキングスペース、シェアオフィス、宿泊機能を併せ持つ施設。最新セキュリティシステム(顔認証)やCO2濃度計測システムも完備しており、快適に利用できる。



住所：北見市北2条西2丁目8  
 北見駅から徒歩5分  
 HP：kitamibase.hatarabu-kitami.com/  
 ※営業時間、料金など詳細はHPをご確認ください



KITAMI BASE ホームページ

【北見市へのアクセス】

- 最寄りの女満別空港まで  
札幌(千歳)から約40分  
東京(羽田)から約90分
- 女満別空港から北見市中部まで車で約40分

方が良いと考え、都内の会計事務所転職するなど、Uターンに向けた準備をしてきました。事務所では、まだ新型コロナウイルス感染症が流行する前にテレワーク制度をつくったのですが、ちょうど同じ時期に、テレワーク移住を推進していた北見市の関係者の方々に会いする機会があり、「テレワークでUターンするなら応援するよ!」と熱心に仰っていただけこと、当時の勤務先の社長が応援してくれたことが、北見市を選ぶ後押しとなりましたね。

キタミベースとは?

自ら社内制度を設けられたとは驚きです。その事務所では業務拡大に伴って、子育て中の主婦の方が増えてきていたのですが、時間的な制約もあり思う様には働けないんですね。なので、「家でも働ける環境をつくりましょ!」と。私自身も2020年に北見市にUターンした当初は、「サテライトオフィス北見(キタミベースの前身)」でテレワークを実践していたのですが、そのご縁もあり、昨年7月からこちらのスタッフとして働いています。

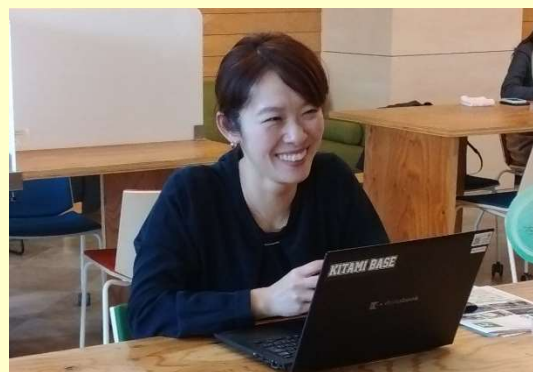
続いて、キタミベースのコンセプトを教えてくださいませんか。

ここは、文字どおり北見の「基地」になりたいとの思いから名付けました。ただの場所貸しでなく、人にフォーカスした取組をする場、そして働き方がフリーになった人たちをつなぎとめる場となることを目指しています。

—どの様な方が利用されていますか?—

主に首都圏や札幌市から、北見市や市内企業、大学等との仕事で出張に来られる方に利用いただいております。割合としては道内と道外で半々くらいですね。

一方、北見市民の利用はまだ多くありません。人と人をつなぐ施設にしたいので、地元の方の利用拡大にも取り組んでいます。昨年は、親子向けの夏祭りなど、身近に感じていただけるイベントも行っており、幅広くこの施設を利用してもらうきっかけになれば嬉しいです。



インタビューに応じる西村さん。施設は北見駅近くの商店街に位置しており、出張中でも利用しやすい。

つながる。  
ヒト

株式会社アイエンター (KITAMI BASE運営)

にしむら たかこ  
西村 貴子 氏



1981年、北海道美幌町生まれ。高校まで地元で過ごし、早稲田大学卒業後、製薬会社、出版社を経て出産のため退職。4年間の専業主婦のあと、ベンチャー専門会計事務所で会計士補助業務に従事。2020年に会社のテレワーク制度を利用して東京から北見市にUターン。現在はコワーキング施設KITAMI BASEの運営と、複業として地元企業の会計サポートを行っている。小学校3年、6年生の二児の母。

千タミベースから  
つながる。

「ワーケーションで来られた方の「地域の人とつながりたい!」「どんな体験ができるか教えて欲しい!」といった要望にも、お応えいただけるのでしょうか?」

もちろんです!スタッフとして対応できるのは私と、同じくUターンした岩田、そして平田の3名になります。平田は、北見工業大学出身で、カーリング選手として2018年の平昌オリンピックにも出ており、地域でもすごく顔が広く、様々なつながりをもっています。

Uターンされた西村さんと岩田さん、

オリンピック選手である平田さん。他のワーク施設にはない視点から、面白い話を聞けそうですね。人と人をつなぐという観点では何か取組をされていますか?

「この設備として」「ギブテイクボード」がありまして、「○○が出来ます」「□□が欲しいです」というのを利用者に貼ってもらうことで、結びつける取組を行っています。

また、冬のオホーツクはその寒さと流水が体験できるため、意外と首都圏からのワーケーションの方々に人気です。そういった方々から、地元の人にアテンドしてほしいという要望をいただくことが多いので、私たちのようなコンシェルジュがいる施設を選んでいただいております。

今後もそういった方とつきあっていきたいし、その方達と地元の方を我々がつなぐことで、何か新しい関係が生まれる良いなと思っています。

ちなみに、2階がシェアオフィスとなっていますが、どの様な方が入居されているのでしょうか?

東京のIT企業や札幌の開発会社の方、個人事業主、そして当社(アイエンター)のエンジニアも4名常駐しています。あと、漫画家さんもうっしやあって、キタミベースのHPや入口前の絵も描いてもらっています。

IT企業の方は「北見経済新聞」というネットワークメディアも運営されているので、ここでのイベントを取り上げてもらったり、この利用者の方も紹介

したりしています。こうした異業種交流も増やしていきたいですね。

北見のおススメ

ワーケーションで来られた方向けに、北見のおススメはありますか?

やっぱり焼肉ですね!北見市は日本有数の焼肉店舗数を誇り、和牛を食べたかったらここ、ホルモンならここ、生だれを味わいたいならここ、サイドメニューはここが美味しいなど、目的によっておススメするお店が違っただけです。焼肉が好きすぎて自ら「ヤキニキスト」を名乗る地元の方もいらっしゃって、ワーケーションで来られた方に、焼肉の食べ方を伝授する会も開いたりしますよ。

あとは、「オホーツク北見塩焼きそば」もご当地グルメとして有名ですね。オホーツクビールという地ビールがあったり、カクテルの街を名乗ったりもしています。繁華街がコンパクトにまとまっていて、バーなども結構あるので、仕事終わりも楽しんでいただけると思います。

ワーケーションで長期滞在しても、色々楽しめるそうですね!食以外で北見ならではの体験はありますか?

市内には通年オープンしているカーリングホールが市内に2つあります。道具も貸してくれて、地域おこし協力隊のスタッフによるレクチャーもあるので、初心者の方も楽しめますよ。北京五輪で注目されたこともあり、ワーケーションツアーでは、必ず行程に入れて欲しいと言われる体験です。

おススメ!

オホーツク北見塩焼きそば



焼肉と並んで北見のご当地グルメとして人気があるのが「オホーツク北見塩焼きそば」。

北見玉ねぎとオホーツク産のホタテ、さらに旬の地域食材を特製塩だれで炒めたご当地焼きそばは、熱々の鉄板で提供するのがルールとなっています。

写真は北見駅から徒歩5分に位置する「瀋陽飯店」の塩やきそば。

最後に、これからキタミベースに来られる方にメッセージをお願いします!

北見市には美味しい食や春夏秋冬のアクティビティが充実しています。快適な仕事環境を提供できるキタミベースもあるので、ぜひ仕事も観光も充実した時間を過ごしていただきたいと思います。

私たちもキタミベースを外から来られる方と市民の方をつなぐ場にするため、これからも色々イベントを実施していきます。是非、足を運んでみてください!

ありがとうございました!  
次回のインタビュは3月頃に公開予定です。お楽しみに!